

地域共通・流域別の代表的な取組実績

項目		取組数	代表的な取組
地域共通の取組	きれいな水	10	生活排水処理施設の整備（污水人口普及率） 平成 27 年度：1.2%増（前年度比） 行動計画（第 2 次）：2.0%増（H25→H27） 行動計画（全 体）：5.9%増（H21→H27）
	豊かな水	3	森林の整備・保全（間伐面積） 平成 27 年度：1,252ha 行動計画（第 2 次）：4,181ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：11,417ha（H21～H27）
	多様な生態系	5	干潟・浅場の保全・再生（造成面積） 平成 27 年度：6.8ha 行動計画（第 2 次）：13.2ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：31.0ha（H21～H27）
	ふれあう水辺	2	河川・海岸清掃（参加人数） 平成 27 年度：52,486 人 行動計画（第 2 次）：167,438 人（H25～H27） 行動計画（全 体）：345,320 人（H21～H27）
流域別の取組	矢作川等流域	24	水源地域の森林整備（間伐面積） 平成 27 年度：167ha 行動計画（第 2 次）：589ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：1,703ha（H21～H27）
	境川等流域	8	特定都市浸水被害対策法に基づく取組（貯留容量） 平成 27 年度：42,210m <sup>3</sup> 行動計画（第 2 次）：98,836m <sup>3</sup> （H25～H27） 行動計画（全 体）：116,455m <sup>3</sup> （H24～H27）
	油ヶ淵等	11	油ヶ淵周辺の清掃（参加人数） 平成 27 年度：4,578 人 行動計画（第 2 次）：13,450 人（H25～H27） 行動計画（全 体）：27,262 人（H21～H27）
	三河湾沿岸域 （知多半島等）	7	湿地の保全（参加人数） 平成 27 年度：210 人 行動計画（第 2 次）：588 人（H25～H27） 行動計画（全 体）：1,476 人（H21～H27）

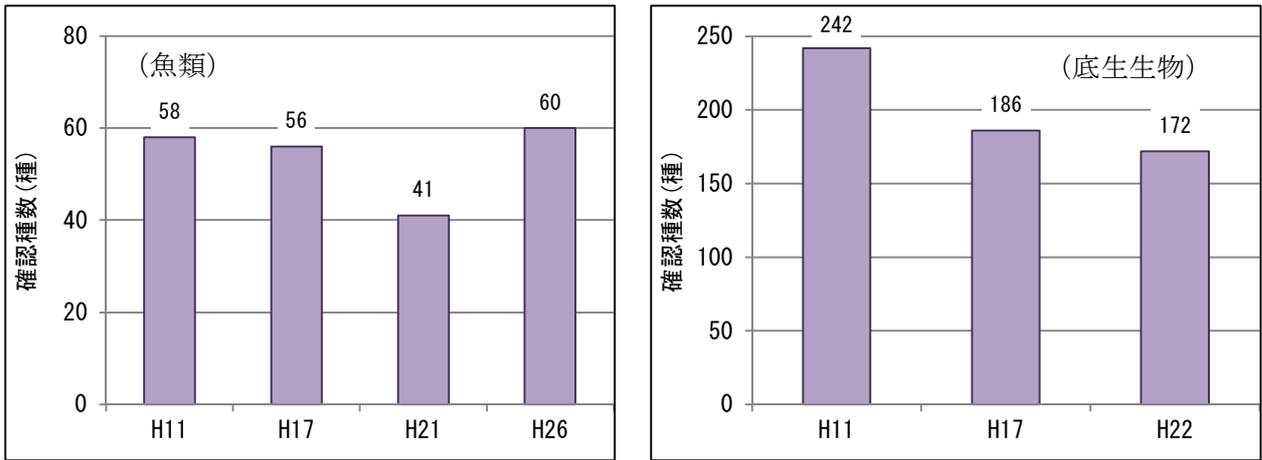
## 参 考

### ○ 水循環機能からみた、健全な水循環を取り戻すための取組の進み具合

#### 水循環機能「多様な生態系」

矢作川（矢作ダムを除く。）で行われた河川水辺の国勢調査(H11～)による、魚類・底生動物の確認種数は図1のとおりです。

確認された種の中には、比較的きれいな水で生息する魚類のアユやカジカ等と底生動物のカワゲラ類やヒラタカゲロウ類等がありました。



備考：H21の魚類、H22の底生動物は重要種を除く種数。

図1 河川水辺の国勢調査による矢作川の確認種数の推移

出典：水情報国土データ管理センター 河川環境データベース

## 水循環機能「きれいな水」

西三河地域を代表する河川の水質汚濁の指標となる生物化学的酸素要求量(BOD75%値)によると、多くの河川で近年は環境基準値を下回り、さらに水質の改善傾向が伺えます。あいち水循環再生基本構想策定(H18.3)以後も同様の傾向がみられ、水質の浄化が進んでいます。

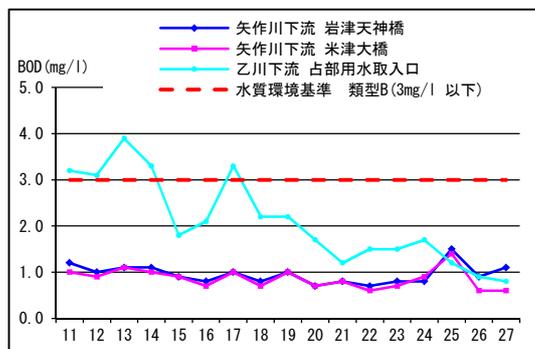


図2 矢作川等の水質(BOD75%値)

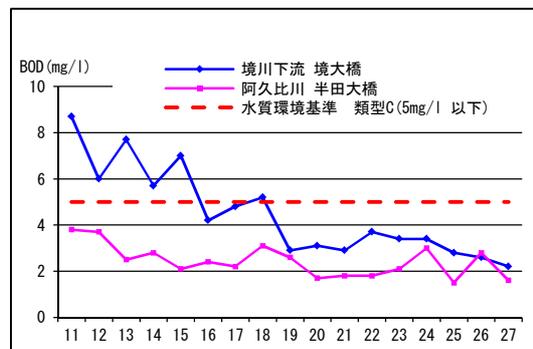


図3 境川等の水質(BOD75%値)

県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵の水質汚濁の指標となる化学的酸素要求量(COD75%値)によると、環境基準は達成していませんが、水質は長期的には改善傾向にあります。

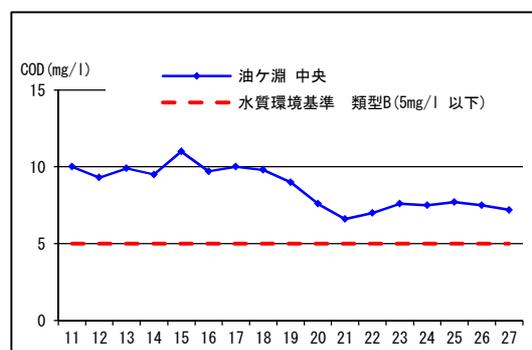


図4 油ヶ淵の水質(COD75%値)

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組		実績						指標とする項目を報告する機関	指標の説明	
	取組内容		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績			平成27年度実績
きれいな水	<b>生活排水処理施設の整備 汚水処理全体</b>		汚水処理人口普及率(%)	各構成員	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口×100						
	・下水道や農業集落排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。		83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	87.2%	88.0%	89.2%		
	<b>下水道の整備</b>		下水道普及率(%)								
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。		69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	74.3%	75.3%	76.7%		
	<b>高度処理施設の導入(下水道整備の内)</b>		高度処理人口普及率(%)								
	・公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理化を促進する。		69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	74.0%	75.3%	76.7%		
	<b>農業・漁業集落排水施設の整備</b>		農業集落排水処理人口普及率(%)								
	・農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。		3.4%	3.4%	3.1%	3.9%	3.9%	3.3%	2.9%		
	<b>合併処理浄化槽の設置</b>		合併処理浄化槽処理人口普及率(%)								
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。		10.4%	10.4%	10.1%	9.9%	9.3%	9.2%	9.3%		
			合併処理浄化槽の基数割合(%)								
			24.0%	26.7%	28.2%	29.7%	31.3%	33.1%	34.3%		
	<b>コミュニティプラントの整備</b>		コミュニティプラント処理人口普及率(%)								
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%		
	<b>干潟・浅場の保全・再生</b>		干潟・浅場造成面積(ha)								
・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。		4.7ha	8ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha			
<b>河川等公共用水域水質監視</b>		河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	県水地盤環境課	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率	
・公共用水域の水質常時監視を実施する。		96%	92%	96%	96%	91.6%	100%	96%			
		海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)	海域(COD)の環境基準達成率(%)			
<b>水生生物調査</b>		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。		82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所			
		延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)			
<b>河川・海岸の清掃</b>		実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・河川・海岸の清掃を行う。		141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回			
		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数			
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所			
		延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)			
		25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人			

めざす姿	指標とする取組		実績						指標とする項目を報告する機関	指標の説明
	取組内容	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績		
		間伐面積 (ha)								
豊かな水	<b>森林の整備</b>								県森林保全課	間伐を実施した面積
	・水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	1904ha	1,941ha	1,840ha	1,551ha	1,555ha	1,374ha	1,252ha		
	<b>雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む)</b>									
	・かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	206箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	231箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	163箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	156箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	211箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	180箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数	84箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数		
ため池の保全									各構成員	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数 62箇所	整備箇所数 52箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 50箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 57箇所		
多様な生態系	<b>多自然川づくり</b>								県河川課	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km		
	<b>干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)</b>									
	・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	干潟・浅場造成面積 (ha) 4.7ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 8ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 3.1ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 2.0ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 2.6ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 3.8ha	干潟・浅場造成面積 (ha) 6.8ha		
	<b>ため池の保全(再掲「きれいな水」)</b>									
	・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数 62箇所	整備箇所数 52箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 50箇所	整備箇所数 48箇所	整備箇所数 57箇所		
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>									
	・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回) 141回 実施箇所数 152箇所 延べ参加人数(人) 25,452人	実施回数(回) 186回 実施箇所数 159箇所 延べ参加人数(人) 30,801人	実施回数(回) 198回 実施箇所数 188箇所 延べ参加人数(人) 39,861人	実施回数(回) 619回 実施箇所数 341箇所 延べ参加人数(人) 81,768人	実施回数(回) 528回 実施箇所数 287箇所 延べ参加人数(人) 59,501人	実施回数(回) 472回 実施箇所数 472回 延べ参加人数(人) 55,451人	実施回数(回) 521回 実施箇所数 521回 延べ参加人数(人) 52,486人		
	<b>水生生物調査(再掲「きれいな水」)</b>									
	・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	実施箇所数 82箇所 延べ参加人数(人) 2,906人	実施箇所数 68箇所 延べ参加人数(人) 2,508人	実施箇所数 53箇所 延べ参加人数(人) 2,174人	実施箇所数 68箇所 延べ参加人数(人) 2,882人	実施箇所数 64箇所 延べ参加人数(人) 2,311人	実施箇所数 52箇所 延べ参加人数(人) 1,982人	実施箇所数 65箇所 延べ参加人数(人) 1,354人		
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b>								県河川課	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km		
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>									
	・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回) 141回 実施箇所数 152箇所 延べ参加人数(人) 25,452人	実施回数(回) 186回 実施箇所数 159箇所 延べ参加人数(人) 30,801人	実施回数(回) 198回 実施箇所数 188箇所 延べ参加人数(人) 39,861人	実施回数(回) 619回 実施箇所数 341箇所 延べ参加人数(人) 81,768人	実施回数(回) 528回 実施箇所数 287箇所 延べ参加人数(人) 59,501人	実施回数(回) 472回 実施箇所数 233箇所 延べ参加人数(人) 55,451人	実施回数(回) 521回 実施箇所数 207箇所 延べ参加人数(人) 52,486人		

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績						
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
<b>矢作川等流域</b> 【課題】 ○間伐等の維持管理不足が山地崩壊、流水発生の原因のひとつと考えられる。 ○手入れ不足の人工林の増加が生物生息環境等にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設置され、連続性の分断や流況の変化による生物の生息環境に変化をもたらしている。 ○沿岸域の一色干潟は三河湾の浄化のため、将来にわたって保全が必要である。 【目標】 ☆上下流連携した森林整備、瀬や淵など自然環境の保全による流域一帯の川づくり ☆山から海までつづく鳥、カエル、チョウ、トンボなど、いろいろな種類の生物の移動ルートの確保 ☆総合学習の場として利用できる干潟など観水空間の保全 <上流> ○水に入って泳ぎたくなる良好な溪流・水辺環境 <中流> ○水に入って遊びたくなる良好な水辺環境 <下流> ○濁りや色が気にならない ○水辺に近づける場所がたくさんある <干潟> ○アサリやウミナなど生物が豊かな干潟	森づくり	<b>水源地域の森林整備</b> ・(公財)矢作川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。 ○岡崎市、豊田市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、南土地水資源課 (※報告機関: 県土地水資源課)	岡崎市、豊田市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、南土地水資源課 (※報告機関: 県土地水資源課)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)				
		322.2ha	245.2ha	283.7ha	263.4ha	239.8ha	182.0ha	166.7ha		
		<b>おと川リバーヘッド大作戦</b> ・自然環境啓発イベントとして、森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。	岡崎市	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	
		128人	18人	43人	36人	43人	50人	121人		
		<b>豊田市100年森づくり構想</b> ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 ・森林の施業方法等を示す「豊田市100年の森づくり構想」を策定する。	豊田市	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)					
		1,477ha	1,404ha	1,383ha	1,112ha	1,137ha	1,056ha	913ha		
		<b>自然環境基礎調査の実施</b> ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する基礎的な調査。	豊田市	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	
		有	有	有	有	有	有	有		
		郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。	岡崎市	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)
			24日	24日	21日	21日	21日	24日	24日	
	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。		豊田市	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	
	6箇所		6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所		
	<b>農業水利施設の環境整備</b> ・生態系、景観に配慮した農業水利施設、ため池、水路の整備。 ・「愛知県ため池保全構想」に基づくため池保全の推進。		西三河農林水産事務所	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	
	1箇所		-	-	-	-	1箇所	-		
	<b>水とみどりの森の駅事業</b> ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」があり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(4箇所)、森の駅育成地区(5箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会等を開催する。		岡崎市	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	
	1,356人		1,987人	2,541人	6,481人	6,735人	6,180人	6,954人		
	<b>生態系にやさしい水田の設置</b> ・里山を主体とした田園風景の維持、そこから育まれた生産物を消費者によって買い支えていくシステムを作るため、生態系にやさしい水田を設置する。		あいち豊田農業協同組合	平成26年度から追加				設置箇所数	設置箇所数	
	12箇所		30箇所							
	まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	岡崎市	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	
		-	-	-	-	-	-	-		
スクリーン数(箇所)		スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)			
9箇所(累計)		9箇所(累計)	12箇所(累計)	24箇所(累計)	59箇所(累計)	-	-			
<b>調整池の整備</b> ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。		安城市	整備容量(m <sup>3</sup> )	整備容量(m <sup>3</sup> )	整備容量(m <sup>3</sup> )	整備容量(m <sup>3</sup> )	整備容量(m <sup>3</sup> )	整備容量(m <sup>3</sup> )		
-		1,874m <sup>3</sup>	2,013m <sup>3</sup>	8,624m <sup>3</sup>	4,168m <sup>3</sup>	-	-			
<b>水田貯留施設の設備</b> ・流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整樹を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。		安城市	平成24年度から追加			整備箇所	整備箇所	整備箇所		
1箇所		1箇所	-	2箇所						
<b>乙川リバーフロント地区整備</b> ・乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造するため、人道橋、プロムナード、園路整備などを行う。	岡崎市	平成26年度から追加				園路の整備延長(m)	園路の整備延長(m)			
-	1,272m									

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績							
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
矢作川等流域	川・里海づくり	<b>干潟・浅場の造成</b> ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟浅場を造成する。	県水産課	干潟・浅場造成面積 (ha)							
		4.7ha	4.2ha	3.1ha	1.5ha	2.6ha	3.8ha	6.4ha			
		<b>矢作川水辺プラザ事業</b> ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、国が堤防の拡幅と低水護岸整備等を行う。	岡崎市	整備箇所数							
		1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.93ha (累積)	2.1ha (累積)	3.4ha (累積)			
		<b>緩傾斜護岸の整備</b> ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長 (m)							
		850m	36m	35m	45.5m	388.7m	260m	259m			
		<b>矢作川沿岸の水質保全</b> ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロール	矢作川沿岸水質保全対策協議会	パトロール回数							
		131回	131回	131回	148回	145回	156回	149回			
		<b>石川・光明寺川の水質調査</b> ・身近な河川への関心を高めるため、総合学習で地域の河川環境の保全に取り組む。	幸田町	実施回数 (回)							
		4回	17回	27回	27回	27回	27回	27回			
		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数			
		2箇所	13箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所			
		延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)			
		376人	1,924人	7,688人	7,789人	7,781人	8,207人	7,782人			
		<b>水生生物調査</b> ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、豊橋河川事務所、県水地盤環境課 (※報告機関:豊橋河川事務所、県水地盤環境課)	実施箇所数							
		50箇所	46箇所	43箇所	43箇所	36箇所	36箇所	50箇所			
		延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)			
		1,943人	1,679人	1,834人	1,963人	1,400人	1,434人	857人			
		<b>干潟観察会の実施</b> ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数 (回)							
		1回	1回	1回	2回	3回	3回	3回			
参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)					
141人	208人	17人	99人	158人	126人	126人					
<b>「水のかんきょう楽校」(水源かん養林事業)</b> ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう楽校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割・『水循環』などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数				
31回	29回	38回	18回	18回	26回	39回					
啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)	啓発事業参加者数 (人)					
6,094人	6,276人	3,911人	1,201人	1,302人	1,309人	2,569人					
連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)					
14団体	21団体	21団体	21団体	21団体	26団体	37団体					
<b>乙川サミットの開催</b> ・乙川に関係する団体(学校、漁協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一堂に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に乙川サミットを開催する。	岡崎市	参加団体数 (団体)	参加団体数 (団体)	参加団体数 (団体)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)				
・討論 4団体 ・参加団体 不明	18団体	18団体	15人	204人	22人(7団体)	36人(11団体)					
<b>船遊び(乙川観光船事業)</b> ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)				
3,894人	3,043人	2,467人	1,431人	1,728人	1,989人	2,098人					

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績							
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
<b>境川等流域</b> 【課題】 ○上流2市2町(大府市、豊明市、東郷町、みよし市)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。 【目標】 ☆多様な動植物が見られる河川環境 ☆保水・かん養や生物の住処をもたらすための池の回復 <上流> ○魚の姿がたくさん見える。 ○水に入って遊びたくなる水辺 ○濁りや色が気にならない。 <中・下流> ○ヨシなど河畔の植物が多く、在来種が多い。 ○眺めたり散歩したい水辺。 ○濁りや色が気にならない。	森づくり	<b>水源涵養林育成事業</b> ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用土水地改良区	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	
	郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。 <b>ため池の保全</b> ・「蜻蛉の会」が、ため池付近の清掃、ピオトープ整備、緑化活動等を実施する。	刈谷市	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	除草作業実施回数(回)	
	まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、集糞管、雨水貯留施設等の設置を行う。 <b>特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組</b> ・境川流域において、流域水害対策計画の策定を目指し総合治水対策を推進。 ・流域対策として雨水貯留浸透施設の設置を行う。	大府市	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	
	刈谷市	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数			
	刈谷市	7基(累計)	9基(累計)	12基(累計)	15基(累計)	-	-	-			
	刈谷市	7箇所(累計)	9箇所(累計)	12箇所(累計)	15箇所(累計)	-	-	-			
	名古屋市、刈谷市、豊田市、安城市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東浦町、泉河川課 (※報告機関: 泉河川課)	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容			
	-	-	-	-	・貯留施設: 17,619m3 ・透水性舗装: 49,783m2 ・浸透トレンチ: 1,320m ・浸透柵: 142個	○豊田市: 1箇所(顕本池) ○泉河川課: ・貯留施設: 27,429m3 ・透水性舗装: 63,805m2 ・浸透トレンチ: 409m ・浸透柵: 85個 ・浸透柵: 171個	・貯留施設: 29,197m3 ・透水性舗装: 63,805m2 ・浸透トレンチ: 409m ・浸透柵: 85個	・貯留施設: 42,210m3 ・透水性舗装: 63,364m2 ・浸透トレンチ: 180m ・浸透柵: 30個			
	安城市	<b>調整池の整備</b> ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m3)	整備容量 (m3)	整備容量 (m3)	整備容量 (m3)	整備容量 (m3)			
	川・里海づくり	<b>明徳寺川の清掃活動</b> ・河川の清掃を行う。 <b>水生生物調査</b> ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	東浦町	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)		
流域市町、泉水地盤環境課 (※報告機関: 泉水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
18箇所	17箇所	14箇所	17箇所	21箇所	11箇所	14箇所					
724人	696人	593人	273人	765人	405人	490人					

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績							
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
<b>油ヶ淵等</b> 【課題】 ○流域の汚濁負荷量の約7割は生活系であり、生活排水対策を進めることが必要である。 ○油ヶ淵の流入河川は自流水が少なく、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が見られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。	郷づくり	<b>環境保全型農業の推進</b> ・環境にやさしい農業を普及させるための試験研究や調査を実施する。 ・環境にやさしい農業に取り組む農家の活動を支援する。	県農業経営課	環境安全推進マニュアル導入(産地数)							
	まちづくり	<b>調整池の整備</b> ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。 <b>生活排水モデル地区事業</b> ・毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化実施啓発用品を配布し、7月に実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・アンケート調査、水質調査を実施し、実践活動の効果を確認する。	安城市	整備容量 (m <sup>3</sup> )							
	安城市	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)	学習会参加人数(人)			
	110人	60人	90人	67人	36人	143人	20人				
	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、泉水地盤環境課 (※報告機関: 泉水地盤環境課)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)			
	約400人	約400人	約400人	約350人	約300人	約300人	約130人				
	安城市	<b>水田貯留施設の設備</b> ・流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整池を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備箇所	整備箇所	整備箇所	整備箇所	整備箇所			
	-	-	-	-	-	-	-				

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績							
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
<b>油ヶ淵等</b>  <b>【目標】</b> 湖畔の散歩道において不快感を感じなく、水辺で湖底が見られる。湖内全域で魚が生息できる。川の辺りを眺めたり散歩が楽しい。  <湖内> ○魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。 ○透視度30cm以上、透明度1m以上 <流入河川> ○魚の姿がたくさん見える。 ○臭いや、濁りや色が気にならない。	川・里海づくり	<b>油ヶ淵の浄化対策</b>  ・汚濁物質を除去することを目的とし、浄化施設を整備。 ・湖底のヘドロを覆砂により封じ込み、栄養塩類の溶出を防いで水質の浄化を図る。 ・油ヶ淵の湖岸や流入河川の水辺にヨシ等の水生植物を再生させ、水質の浄化を図る。(植生浄化)	安城市、知立建設事務所	浄化施設の汚泥処理量 (安城市)	浄化施設の汚泥処理量 (安城市)	浄化施設の汚泥処理量 (安城市)					
			-	4m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup>	8m <sup>3</sup>	208m <sup>3</sup>		
			覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)	覆砂面積 (ha) (知立建設事務所)		
			8.6ha	0.8ha	1.3ha	1.2ha	-	-	-		
			植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)	植生浄化 (m) (知立建設事務所)		
			120m	-	-	-	264m	559m	425m		
		<b>油ヶ淵水辺公園の整備</b>  ・天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。 ・環境学習の場の整備。	知立建設事務所	整備状況	整備状況	整備状況	整備状況	整備状況	整備状況		
			-	公園実施設計	公園実施設計	一部造成工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手		
		<b>港湾環境整備事業</b>  ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	衣浦港務所	整備面積 (ha)							
			-	-	-	-	-	-	-		
		<b>油ヶ淵周辺の清掃活動(油ヶ淵浄化デー)</b>  ・毎年7月第4日曜日に流域4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)と流域住民が清掃活動を行う。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	延べ参加人数 (人)							
			3,380人	3,350人	3,050人	4,032人	4,378人	4,494人	4,578人		
			ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)		
			2,040kg	1,300kg	3,740kg	5,860kg	4,100kg	2,070kg	1,730kg		
		<b>水生生物調査</b>  ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
	6箇所	1箇所	6箇所	4箇所	2箇所	1箇所	1箇所				
	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)	延べ参加人数 (人)				
	119人	29人	250人	273人	24人	23人	28人				
<b>油ヶ淵流域水環境モニタリング</b>  ・流域住民・県・市の連携協働による水環境モニタリングを実施する。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)				
	平均 5.9 mg/L	平均 6.7 mg/L	平均 6.6 mg/L	平均 7.0 mg/L	平均 6.7 mg/L	平均 7.5 mg/L	平均 7.2 mg/L				
	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)				
	平均 5.7 mg/L	平均 5.3 mg/L	平均 5.5 mg/L	平均 9.0 mg/L	平均 4.9 mg/L	平均 5.2 mg/L	平均 6.1 mg/L				
	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)				
	平均 32.9 cm	平均 25.2 cm	平均 28.9 cm	平均 25.2 cm	平均 31.3 cm	平均 25.7 cm	平均 26.8 cm				

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績						
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
<b>三河湾沿岸域 (知多半島等)</b>  【課題】 ○単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うるおいを感じる事ができる川づくりが必要となっている。 ○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要となっている。  【目標】 ☆水辺を散歩したい川 ☆生き物をはくむため池を守る  ○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川 ○利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全	森づくり	<b>水源涵養林育成事業</b> ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用土土地改良区	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)
	郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。	阿久比町	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha
	まちづくり	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	川・里海づくり	<b>港湾環境整備事業</b> ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	衣浦港務所	—	—	—	—	—	—	—
	矢勝川の河川清掃等(矢勝川堤防における彼岸花の植栽)	・矢勝川の堤防と河川敷において草刈りを行い、彼岸花の少なくなってきた部分には補植を行う。	半田市	4回 (矢勝川の環境を守る会)	3回 (矢勝川の環境を守る会)	3回 (矢勝川の環境を守る会)	3回	3回	3回	3回
	平地川のゴミ調査等	・地元小中学校の総合学習において、ゴミ調査、水質調査、海の状態調査を行う。	半田市	1箇所	1箇所	18箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
	水生生物調査	・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	8箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	4箇所	3箇所
	水質浄化セラミックによる河川の水質浄化	・水質浄化に効果があるとされる水質浄化セラミックを設置し、水質浄化を図る。	南知多町	平成25年度から追加				—	1箇所	1箇所
				—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—

# 流域モニタリング一斉調査結果（西三河地域）

## 1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成19年7月作成）を活用したもので、平成21年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

## 2 参加者公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）が平成28年3月に参加者募集の記者発表を行いました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼しました。36の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	6 ( 8 )	5 ( 5 )	2 ( 2 )	4 ( 5 )	0 ( 0 )	17 ( 20 )
西三河地域	7 ( 9 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	3 ( 6 )	1 ( 0 )	13 ( 17 )
東三河地域	2 ( 3 )	1 ( 1 )	0 ( 1 )	3 ( 2 )	0 ( 0 )	6 ( 7 )
合計	15 ( 20 )	7 ( 7 )	3 ( 4 )	10 ( 13 )	1 ( 0 )	36 ( 44 )

※（ ）内は、平成27年度の状況を示す。

参考(平成27年度)	20 ( 9 )	7 ( 1 )	4 ( 1 )	13 ( 6 )	0 ( 0 )	44 ( 17 )
参考(平成26年度)	23 ( 11 )	6 ( 1 )	2 ( 0 )	8 ( 5 )	0 ( 0 )	37 ( 15 )

※（ ）内は、西三河地域の状況を示す。

### < 広報参考例 >

#### 流域モニタリング一斉調査 参加者募集

河川やため池など身近な水環境に興味を持っていただくため、愛知県主催で県民の方々を対象に県内全域で「流域モニタリング一斉調査」を行います。この調査は、参加者の方々の五感により水の色やにおいなどを評価するもので、どなたでも簡単に行うことができます。

● **調査期間** 6月5日(環境の日)～9月末日  
※期間内に調査ができない場合は、時期を変更して調査することも可能です。

● **内容**

身近な水辺(河川、湖沼、海、水路、ため池など)で「水質」、「水量」、「生態系」などを調査・報告

● **対象** 一般の方  
※小学生以下は保護者同伴

● **申し込み**  
4月28日(月)～5月13日(金)に申込書を問い合わせ先へ  
※申込書は環境課で配布または町ホームページからダウンロード可

● **問い合わせ** 環境課 内線282

#### 流域モニタリング一斉調査の参加者を募集します

河川やため池など身近な水環境に興味を持っていただくため、県民の方々を対象に県内全域で「流域モニタリング一斉調査」を実施します。この調査は、参加者の方々の五感により水の色やにおいなどを評価するもので、どなたでも簡単に実施することができます。

このたび、平成28年度の調査の参加者(グループ)を次のとおり募集します。

○ **対象** どなたでも参加できます。(小学生以下の方は、保護者の方と一緒に参加してください)

○ **調査期間** 6月5日(環境の日)から9月末まで(期間内に調査ができない場合は、時期を変更して調査することも可能です。)

○ **調査内容** 身近な水辺(川やため池、湖、水路、海辺など)で「水のきれいさ」、「水の量」、「生態系」、「水辺のようす」について調査を行い、所定の調査票にて報告してください。

○ **募集期間**

参加申込書の提出期限	調査予定日
5月20日(金)	6月5日(日)～6月26日(日)
6月10日(金)	6月27日(月)～7月10日(日)
6月24日(金)	7月11日(月)～7月31日(日)
7月15日(金)	8月1日(月)～8月31日(水)
8月17日(水)	9月1日(木)～9月30日(金)

○ **参加申込及び問い合わせ先**  
環境保全課環境係 ☎82-1111 (内線216)

広報みはま 5月号

広報ちりゅう 5月1日号

### 3 参加の状況について

地域名	実施状況（平成 28 年度）			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	8 (11)	62 ( 63)	592 ( 660)	89 ( 88)
西三河地域	12 (11)	52 ( 55)	555 ( 443)	87 (106)
東三河地域	4 ( 5)	8 ( 9)	124 ( 104)	20 ( 19)
合計	24 (27)	122 (127)	1,271 (1,207)	196 (213)

※（ ）内は、平成 27 年度の状況を示す。

参考（平成 27 年度）	27 (11)	127 ( 55)	1,207 ( 443)	213 (106)
参考（平成 26 年度）	16 ( 7)	120 ( 67)	691 ( 151)	146 ( 82)
参考（平成 25 年度）	21 ( 8)	103 ( 52)	913 ( 352)	141 ( 70)
参考（平成 24 年度）	22 ( 9)	141 ( 88)	1,002 ( 362)	230 (152)
参考（平成 23 年度）	22 ( 9)	134 ( 82)	860 ( 452)	256 (139)
参考（平成 22 年度）	25 (14)	103 ( 79)	1,000 ( 667)	210 (176)
参考（平成 21 年度）	25 ( 8)	83 ( 13)	884 ( 422)	287 (131)

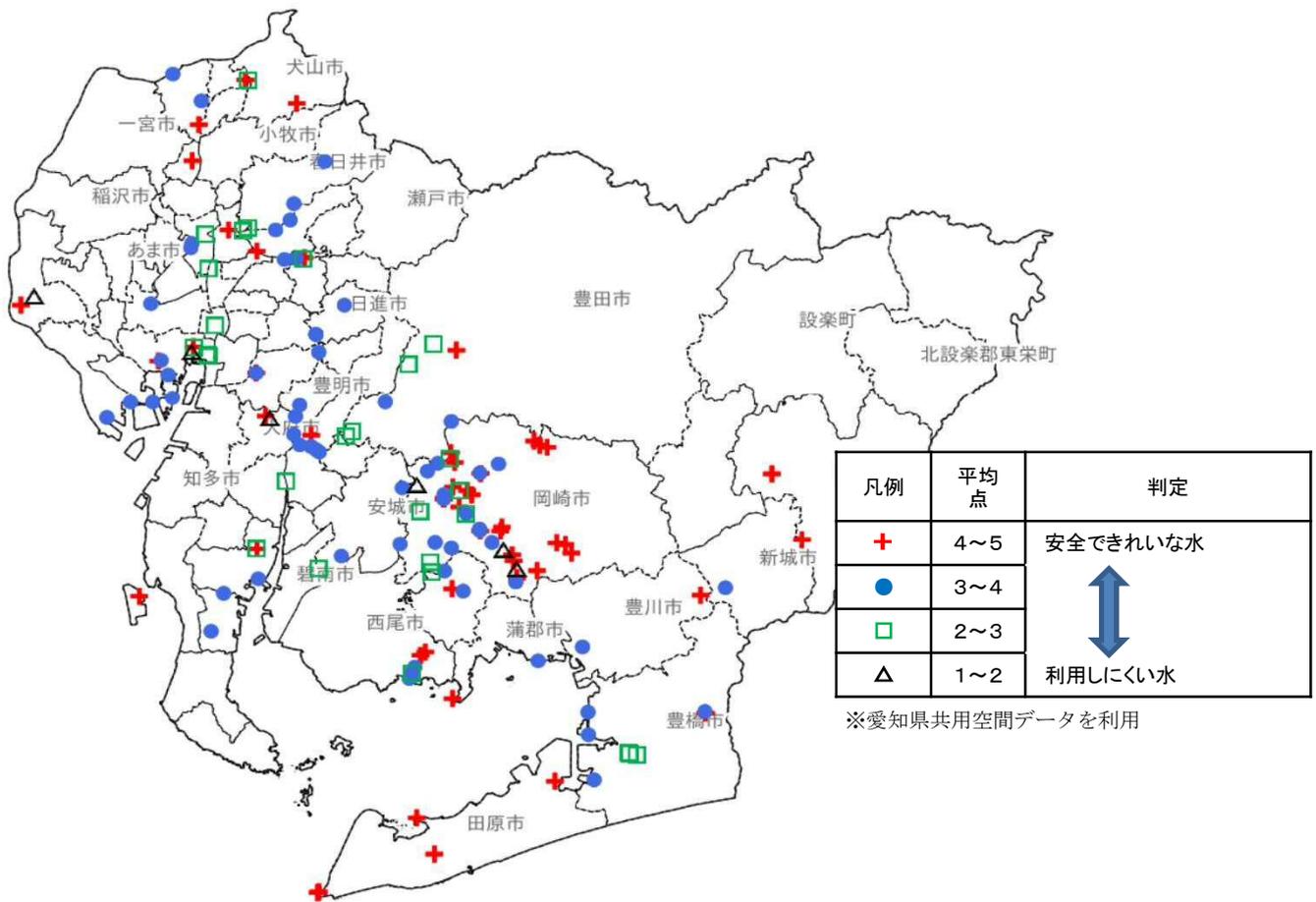
※伊勢湾流域圏一斉モニタリング（中部地方整備局）、水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市）の数値を含む。

※（ ）内は、西三河地域の状況を示す。

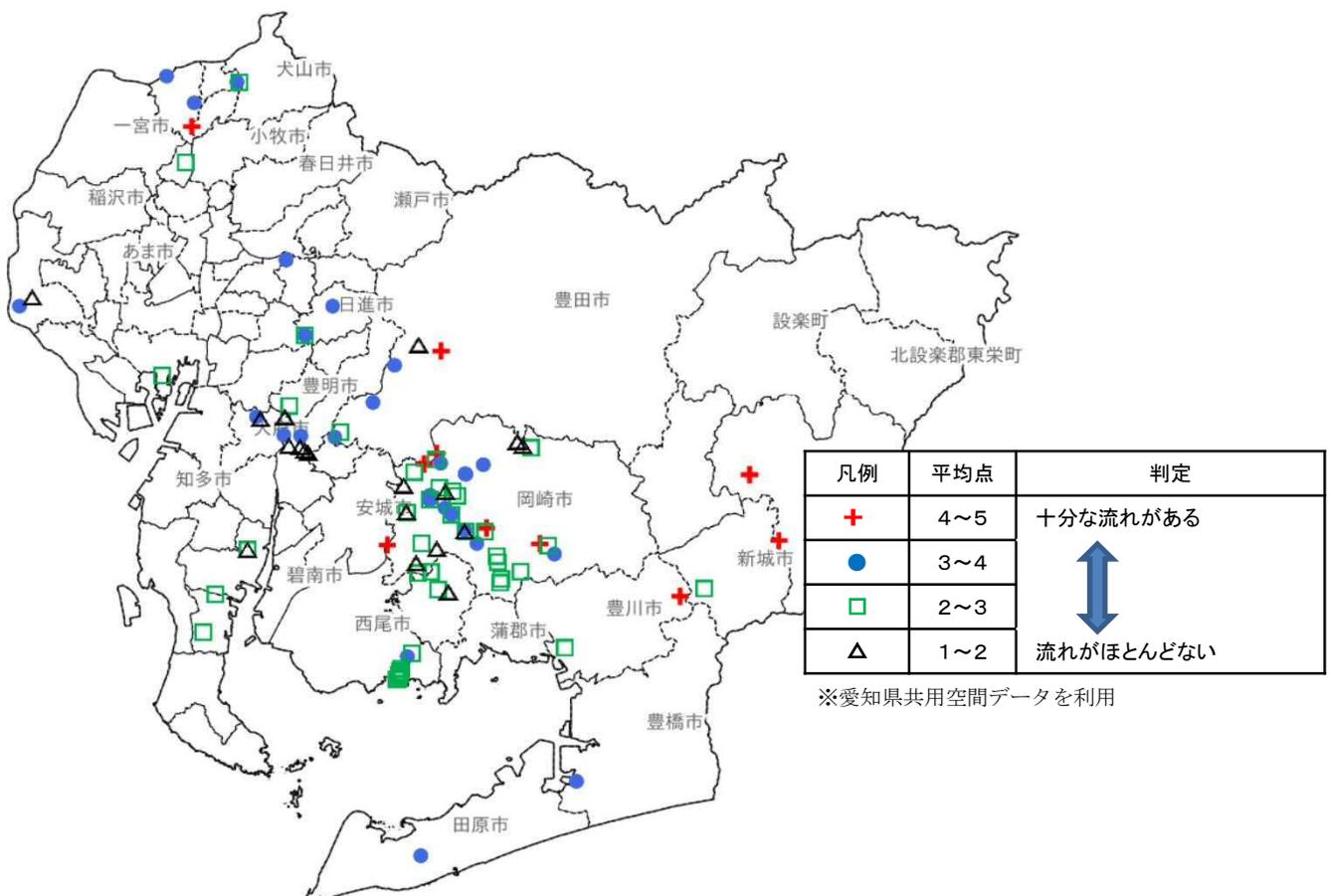
### 4 調査結果

- ・延べ参加人数（三地域の合計）は、昨年度より 64 人（前年度比 105%増）増加しました。
- ・尾張地域では、流量の大きい河川である木曾川・庄内川等流域において、東三河地域の豊川・天竜川等流域に比べ、やや評価が低い傾向が見られましたが、生物が豊かで、快適な水辺と感じられたとの声も多く寄せられました。
- ・西三河地域では、流量が大きい河川である矢作川等流域において、境川等流域や油ヶ淵等流域と比べ、全ての項目で評価が高い傾向となりました。
- ・東三河地域では、豊川・天竜川流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となりました。相対的に流量が大きいほど水がきれいで、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。

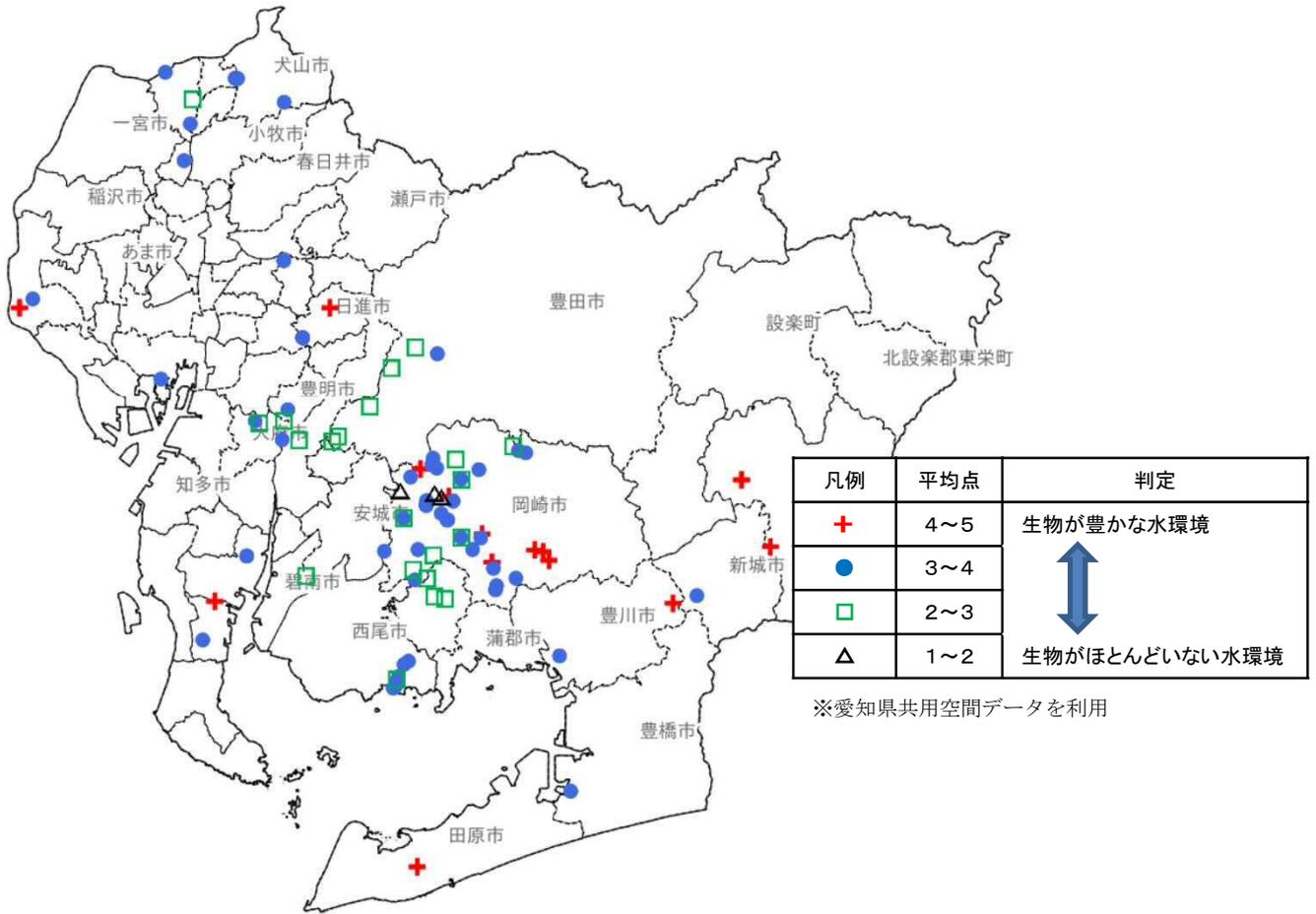
平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



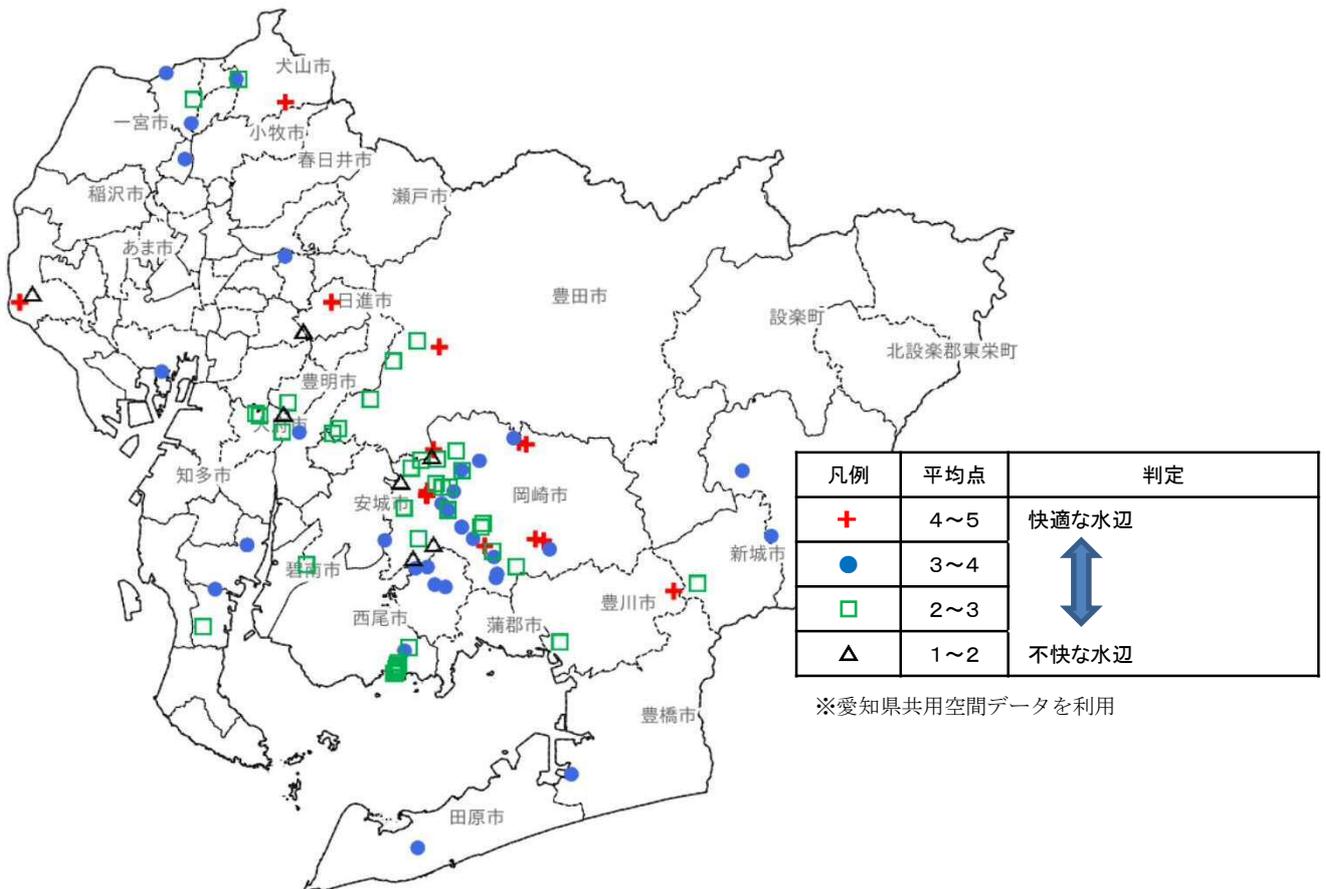
平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



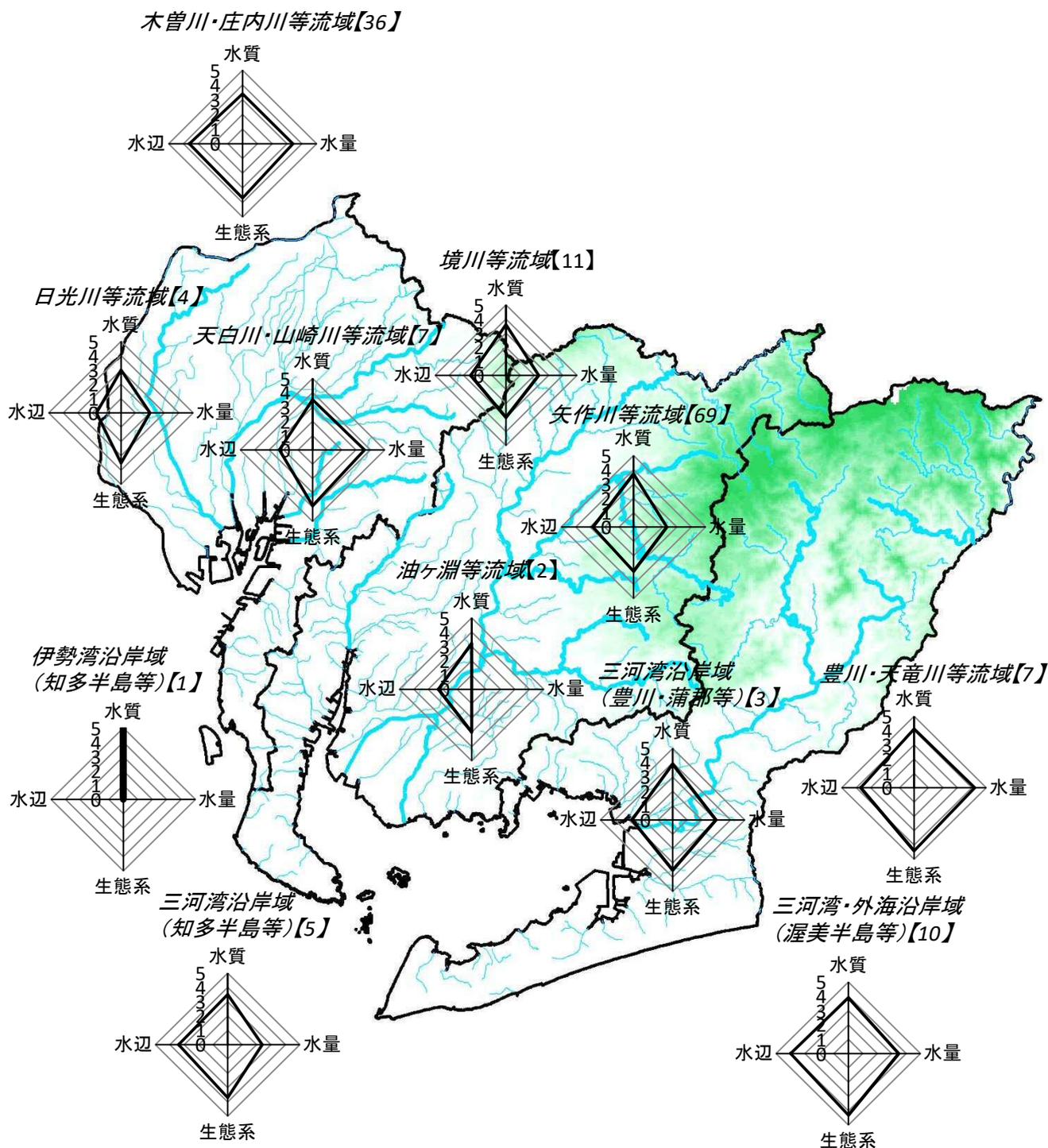
平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



※調査項目は参加者の任意であるため、伊勢湾沿岸域（知多半島等）は水質の評価のみ、油ヶ淵等流域は水質、生態系及び水辺の評価となっています。

## 水循環再生のための啓発活動の実績（平成28年度）

### 1 水循環啓発資材

環境学習などで「健全な水循環の再生」を説明する啓発資料として、パネル、パンフレット及びビデオを用意しております。

これらの啓発資材は、水循環の健全化に向けて、県民一人ひとりができることを考えてもらう内容となっております。

パネル等は貸し出し可能ですので、それらを利用して、各種イベント等において水循環再生のPRも併せて行うことができます。

#### ●水循環啓発パネル

- ・ 尾張・西三河・東三河地域の3地域共通の内容 3枚（A1版）
- ・ 各地域の内容 2枚（A1版）

#### ●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（パンフレット）

- ・ 水循環の大切さについて小学生がわかるようにまとめてあります。

#### ●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（A5版小冊子）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルは流域モニタリング一斉調査を行うため、写真やイラストなどを用いてまとめてあります。

#### ●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（概要版）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルをA3版にまとめた概要版です。ポケットサイズとなっております。

#### ●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（啓発ビデオ約14分）

- ・ 水循環について、循環のしくみや大切さ、健全な水循環を取り戻すための活動紹介についてまとめてあります。

### 2 啓発活動の実績

- 愛知県主催のイベント、愛知県の各県民プラザ、愛知県環境学習プラザ等において、パネルの展示及びパンフレットの配布を行いました。大型ショッピングセンター内においても啓発活動や、各団体のイベントと連携した啓発活動を行いました。
- 県内全体で、合計14箇所、延べ128日間啓発活動を行いました。（表1）

表 1 水循環啓発活動状況

	展示場所	展示期間	日数
1	愛知県環境学習プラザ	6月1日(水)～6月30日(木)	30
2	ものづくり博in東三河 (豊橋市総合体育館)	6月17日(金)～6月18日(土)	2
3	干潟生きもの観察会in蒲郡 (竹島海岸)	6月18日(土)	1
4	イオンモール常滑	9月10日(土)～9月11日(日)	2
5	530のまち環境フェスタ (豊橋市公会堂)	9月17日(土)	1
6	愛知県庁連絡地下通路	9月20日(火)～9月30日(金)	11
7	愛知県知多県民相談室	10月11日(火)～10月21日(金)	10
8	愛知県庁本庁舎公開イベント	11月3日(木)	1
9	愛知県東三河県民相談室	11月14日(月)～11月22日(火)	9
10	愛知県西三河県民相談室	11月14日(月)～12月6日(火)	23
11	愛知県海部県民相談室	11月21日(月)～12月2日(金)	12
12	愛知県新城設楽県民相談室	12月5日(月)～12月16日(金)	12
13	愛知県県民相談・情報センター	12月12日(月)～12月18日(金)	11
14	エコプロ2016 (東京ビッグサイト)	12月8日(木)～12月10日(土)	3
計	14箇所	—	128



6/17~18 ものづくり博 in 東三河  
(豊橋市総合体育館)



9/10~11 イオンモール常滑



9/17 530のまち環境フェスタ  
(豊橋市公会堂)



11/3 愛知県庁本庁舎公開イベント

## 環境について考えて

17日、豊橋で「フェスタ」

環境について考える機会にしよう  
「530のまち環境フェスタ」が17日、豊橋市役所市民広場

などを会場に開催される。多彩な催しが繰り広げられ、主催する530(ゴミゼロ)運動環境協議会などは多くの来場を呼び掛けている。

「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に同

市で発祥した530運動。フェスタでは、午後0時半から、運動の普及、啓発役を担う530広報大使のシンガーソングライター・辻幸平さんと、フリーアナウンサー・いいたまきさんによるトークとライブが行われる。

フェスタは午前9時15分から午後3時。会場では、ごみ減量や省資源、省エネルギー、リサイクルなどを楽しみながら学べるブースが並ぶ。人気のリサイクル自転車抽選会は午後2時からあり、再生された約40台が用意される。

近くの市公会堂では、三河湾の環境再生に向けた取り組みなどを紹介する県による催しもある。

(中村晋也)